

## ドイツウヒマダラメイガ

6月にアカエゾマツやヨーロッパトウヒにつくイモムシ（幼虫）。体長最大約25mm。集団で糞と枯れ葉を綴って巣を作る。まれながらアカエゾマツで多発することがある。



1. 老齢幼虫，1989/6/30. 美唄市，庭のアカエゾマツ。



2. 幼虫の巣。1989/6/14. 1を含む集団の巣。



3. 成虫。1989. 1を含む集団を飼育。

【学名】 *Doryctria okui*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , メイガ科 (Pyralidae)

【分布】 北海道。

### 【生態】

宿主：アカエゾマツ，ヨーロッパトウヒ。

年1世代。若齢幼虫のときに葉内に潜って越冬する。

幼虫は集団で虫糞と枯れ葉をつづって巣を作る。食害は5～6月に大きくなり，巣も目立つようになる。巣の中で繭を作り蛹になる。成虫は6月中旬～7月下旬に羽化する。

### 【被害と防除】

庭などのアカエゾマツでまれに食害が目立つことがある。森林では多発した例は知られていない。

庭木などで食害が気になるときは，巣を取り除く。

【文献】

1984. 鈴木重孝, 駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場研究報告, 22: 85-129.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ドイツトウヒマダラメイガ meiga/doimada/  
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/9/29.

1yochu.jpg, 1yochusu.jpg, 1seichu.jpg

「写真1～3」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1989.